

飛躍・未来に

平成18年11月11日

千葉市立生浜中学校

60周年記念誌

1 学校長挨拶

「この10年」

相内 慶幸

沿革誌の1行目に、「六・三制新学校制度改革ニ伴イ、生浜町立生浜中学校ト命名シ、昭和22年5月10日開校式ヲ舉ゲタリ」と記されています。「校舎は小学校の北側校舎西側4教室及講堂を用ふ」、「各學級共男女共学制ヲ採用セリ」という記述もあります。

以来、数えることができないほど多くの方々に支えられ・育てられ、60周年を迎える、卒業生は13,933人（17年度末現在）を数えるにいたりました。その節目の年に在職できることを誇りに思います。

さて、社会の変化はめまぐるしいものがあります。教育界も例外ではありません。

平成12年4月、新学習指導要領が施行され、授業時数が70時間／年間削減、「総合的な学習の時間」の新設、選択時数の大幅拡大。千葉市は授業時数確保のため、16年度より2期制を導入。そして今は憲法並びに教育基本法の改正も盛んに論議されています。

校歌の2番に、あぐる焰の溶鉱炉／とどろき渡る鉄の音、という歌詞があります。いうまでもなく昭和25年開設した川鉄千葉製鉄所の様子を詠ったものです。その川鉄も平成15年4月他社と経営統合しJFEとなりました。

そのような状況のなか、関係の皆様方のご支援・ご協力をいただき、「更に躍動のみられる、意気あがむ学校づくり」に取り組み、数々の成果をあげてまいりました。とりわけ、私は生浜の風土に学校が育てていただいていることを実感しております。心

より感謝申し上げます。そして明日からは更なる飛躍を目指し、新しい出発をすることになります。これまで以上にご支援・ご指導くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本記念誌はこの10年の記録という立場で作成いたしました。ご理解くださいますようお願いいたします。

2 実行委員長挨拶

「創立60周年を迎えて」

長谷川 功

千葉市立生浜中学校が昭和22年に開校以来60周年を迎えました。開校時は、生浜小学校の4教室での発足との事ですが、今年度は生徒数600名以上17学級と千葉市でも大きい中学校となりました。この間子供達の教育についてご尽力された先生方、ご協力を頂いた地域の皆様に深く感謝致します。

犯罪の低年齢化が叫ばれる昨今、中学生によるさまざまな事件が起きていますが、幸いにも生浜中学校にあっては、大きな事件や問題となる出来事が起こる事なく、学校生活が送られていると思います。これも先生方のさまざまな教育活動や保護者の協力・地域との連携があればこそだと考えます。このようなすばらしい環境を引き続き保つために、学校・家庭・地域がこれまで以上に深いつながりを持ち、子供達のことを支えてあげる体制を築いていただければと思います。

終わりに、創立60周年事業にご支援・ご協力を頂きました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご理解・ご協力を頂けますようお願い申し上げます。



3 育成委員会会長挨拶

「創立六十周年を祝して」

大堀 榮久

生浜中学校創立六十周年、誠にお目出とうござい
ます。

ここ五年ばかり、入学式や卒業式等の行事に列席させて頂いておりますので、多少中学校のことを感じじるようになりました。まず第一に校門に入ってからの校舎や体育館の配置や雰囲気がすばらしく、大いに親しみを感じます。次に生徒の態度が規律正しく、さすが伝統に裏付けられた校風の良さを感じます。更には行き交う生徒から元気の良い挨拶の言葉をかけられるに及んでは、なんとすばらしい中学校だろうと感心するばかりです。

六十年の歴史を積み重ね、良き伝統と校風を築いてこられたのは、卒業生や在校生の努力、情熱に燃えた先生方の指導力や、学校への支援を惜しまなかつたPTAや地域の方々の努力の結果であると敬意を表します。

このところ、ゆとり教育の見直し論議や、教育改革が話題になるなど、生徒や学校を取り巻く環境には流動的な面もあります。

情勢の変化には関係者が一丸となって対処していくことが求められるのは当然のことと意識しております。

生浜中学校が未来に向け更に発展されますよう祈念いたします。

4 歴代校長代表挨拶

「未知の可能性を秘めた学校・地域」

第20代校長 佐藤 勇

創立60周年、心からお祝い申し上げます。

平成14年から、歴史と伝統、それに地域の活力あふれる学校で4年間過ごさせていただきました。この間、素朴さと体力に恵まれた生徒の特性を生かす経営のあり方を模索し続けました。

幸い、草花があふれる環境が、生徒や地域住民の心の栄養となっていることを知り、環境整備を土台とし、「学力の充実」「環境教育と健康教育」を柱とする教育が適切と判断し、教育計画の立案と内容の改善に努めてきました。このことが、新たな伝統づくりのスタートとして、定着できたものと思っています。

又、意欲的な教員集団は、千葉市に先駆けた取り組みにも意欲的で、「読み聞かせの導入」「通知票の改善」「3年間を見通した環境・健康教育のあり方」等々、生徒の能力開発に直結する教育の改善・開発に、一致協力して努力している姿に、感謝の毎日でした。

最後に、地域開発が待たれる生浜地域同様、生徒の能力開発に未知の魅力を感じる生浜中学校の、さらなる発展を期待します。

5 贈る言葉（卒業生から）

「生浜中で学んだこと」

平成15年度卒業生 浜本 優

早いもので生浜中学校を卒業してから、もう3年が経とうとしている。今では目前に迫った大学入試に向けた勉強に追われ、忙しい日々が続いている。時間がゆっくり流れていったあの頃が少し懐かしい。

僕は生浜中学校を卒業し、都内の中高一貫校の私立高校に高校編入組（新高）として入学した。その自由な校風の中、中学校からの内部進学組（旧高）と出会い親睦を深めていくにつれ、一部の旧高の視野の狭さが目につくようになる。基本的な生活習慣、規則、礼儀といったものが彼らには欠落しているように感じた。僕は、生浜中に行ってよかったと改めて思った。

学校という機関は、一個人の人格形成に多大な影響を及ぼすと僕は思う。すなわち、自分という人格は、学校と切り離すことができない。生浜中で過ごした日々は、単なる思い出以上のものとして僕の中に残っている。規則や礼儀の大切さもここで学んだ。

僕は今、大学で医学を学びたいと思っている。医師という職業は、他の職業以上に「医師としての人となり」が重要であると考える。そのとき、生浜中で学んだことを礎にして、一步一歩頑張っていきたいと思う今日この頃である。

「周りの人の支え」

平成16年度卒業生 久保 裕一

振り返ってみると、僕が生浜中で過ごした3年間は瞬く間に過ぎていったものであり、また、一日一日が忘れられないかけがえのないものもある、そんな気がする。とりわけ部活動に打ち込んだ日々

は、今の自分にとっても貴重なものとなっている。

僕は3年間野球部に所属していた。全くの初心者だった入部当初は本当に辛く、やめてしまおうか何度も思った。しかしそんな状況の中でも続けることができたのは、周りの人の支えがあったからだ。特にチームメートの存在は大きかった。どんなきつい練習でも共にやり通し、励まし合いながら頑張った素晴らしい仲間たちだった。今でも自分は野球を続けているが、もし彼らの存在がなければ、高校野球に打ち込む現在の自分はなかったと思う。

中学校生活は義務教育を締めくくる3年間であり、心身の成長のまったく中で、様々な個性がぶつかり合う時期もある。その激動の時代に出会い、心を通わすことのできた仲間は特別なものだと思う。もし今の中学生に一言アドバイスができるならば「本当の仲間をつくろう。」ということを言いたい。同じ目標を持って辛さや喜びを共にし、本音が言い合えた仲間は、僕の一生の宝になった。

6 これからの生徒会活動

10月4日の生徒会選挙で新しい生徒会本部役員が決まりました。これからの生徒会活動をどのように展開していくのか、話し合ってもらいました。参加者は生徒会長平松君、副会長の濱崎君と中村さん、書記の鎌木君と坂口さん、会計の高梨君と久保さんの7名。司会は3年の小幡さんにお願いしました。

(小幡さん)「皆さんは生徒会本部役員に選ばれたわけですが、これから生浜中学校をどんな学校にしたいと考えていますか？」

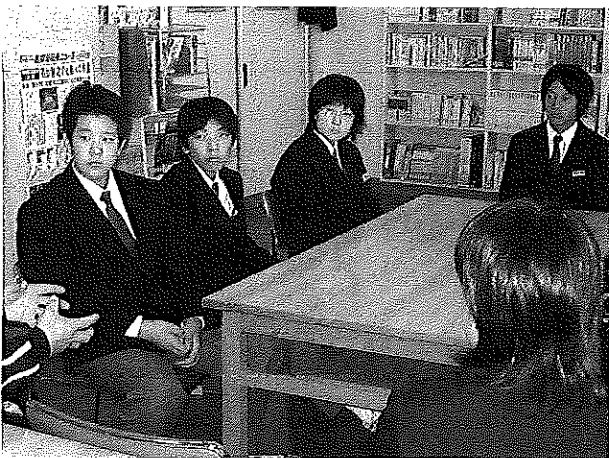
(平松君)「生浜中学校の生徒が、地域の人たちとさまざまな関わりを持って、いろいろな人によい印象をもってもらいたいと思います。最近、自転車通学など、よくないことが地域の人たちの印象になってしまっているようです。生浜中のもっとよいところを地域の人に知ってもらいたいと思います。」

(濱崎君)「僕は、もしも学校で問題が起きても、生徒全員が一致団結してその問題を全員で考え、全員で行動し、解決への道を自分たちで見つけていく、そんな学校にしたいです。」

(中村さん)「私は生浜中の生徒が、多くの人と関わりをもったり、進んで活動に参加できるような環境をつくりたいと思います。一人ひとりの小さな努力や心遣いをまとめて大きな成果となるような、団

結力のある学校にしたいと思います」

(小幡さん)「中村さんと同じような意見ですが、……。生浜中学校の隠れた伝統の一つにボランティアがあると思います。今までやってきたボランティア活動をもっと活発にして、全校生徒が参加できる学校にしてほしいなと思います。」



座談会風景

(鎌木君)「どこの中学校にも負けないくらいたくさん笑顔のある学校にしたいです。勉強面ではしっかりとけじめをつけ、生活面では規則正しくし、また、休み時間の時はみんなが笑っている、そういう生浜中学校にしたいと思います。」

(坂口さん)「私は、一人一人の意見が大切にされ、一人一人が楽しいと思える学校にしたい。それからみんなの学校なので、気持ちよく生活できるように、清潔な学校にしたいです。私が今考えている生徒会の活動テーマは、【一人一人が自分たちで自分たちの中学校生活を作れるような学校にする】ということです。これは濱崎君の意見と共通する部分がありますね。」

(高梨君)「僕はテストの点がよいのも大切なことだけは思うけれど、みんなに思いやりの心があったり、言葉遣いや礼儀がしっかりしていることも大切だと思います。お客様に失礼のないことも大切だと思います。挨拶などをしっかりできるようにしたい。」

(久保さん)「私の考えも高梨君と同じです。私も、生浜中学校を【当たり前のことをきちんとできる学校】にしたいと思っています。理由は部活動をしてきて、挨拶や周りの人との協力がとても大切なことだと学んだからです。」

(小幡さん)「皆さんの考えを実現していくために、生徒会としてどんな活動をしたいと思いますか。」

(鎌木君)「勉強面では、学習委員会に私語チエッ

クをしてもらうように頼みます。次に生活面では月に一度健康チェックをして、基本的生活習慣の大切さを呼びかけていくことを提案します。また、集会などで楽しい企画をしてみたいです。」

(濱崎君)「生徒会として、けじめのある活動をしていきたいと思います。例えば、全校でレク大会を行うときはみんなで一緒になって遊び、会議などの時は真剣に話し合う・・・、基本中の基本ですけど、決してやるべきことを忘れないようにしていきたいです。」

(平野君)「僕は、地域の人とさまざまな行事をしたり、学校行事にお招きしたいです。また、募金にも積極的に協力して、いろいろな人に役立つ活動をしていきたいと思います。」

(中村さん)「私は、地域のボランティア活動やブルタブ集め、それからベルマークや募金などを、期間を定めて積極的に実施していきたいと思っています。今まで以上にたくさんの協力が得られるように、呼びかけやポスター等を使って行っていきたいと思います。」

(坂口さん)「各行事の手伝いや、他校や地域の皆さんとの交流をしたいです。それから、みんなが楽しいと思えるようなことをアンケートを探って、何かイベントを一つやってみたい。」

(高梨君)「本部が進んで(学校生活の)手本を示していきたい。自分たちから進んで会釈したり、言葉遣いをていねいにしたり努力していけば、みんなも少しずつ変わってくると思う。」

(久保さん)「私は、体育祭以外にも、学校全体が一つになり、楽しめるような行事を考えて実行したいと思います。」

(小幡さん)「新メンバーでやってみたい新しい取り組みはありますか?」

(久保さん)「自分たちのよいところや自慢できることを再確認してみたいと思います。よいところはもっとアピールしていくみたい。」

(高梨君)「定期的にゴミ拾いがあればいいと思う。」

(坂口君)「私は、一人一人の意見を尊重するため、各クラスに意見箱を置いて、意見や要望があれば全校で考えてみたい。具体的には意見箱で集まった意見は生徒会で具体策を考え、掲示して、それにに対する意見を聞いていく。」

(鎧木君)「さっき言った月に一度健康チェックをすることのほかに、服装について考えてみたい。そ

れから、お昼の放送でクイズを出してみんなに解答を考えてもらい、少しでも楽しい雰囲気をつくっていきたい。」

(中村さん)「私は、ベルマークやブルタブ回収をやってみたい。また、学校の周りには木々や草花が多いので、学年毎に写生会を行いたいと思っています。」

(濱崎君)「私は、一ヶ月に一度、全校でアンケート調査をしてみたいと思っています。アンケートの内容は身近で起こっている問題、学校生活で不便なところ、全校でやってみたいことなどについてです。私たちの学校が、今、どんな状態になっているのかを把握したい。」

(平松君)「私のやってみたいのは地域ぐるみの行事や、今まで取り組んでこなかった募金活動等です。また、生浜中のよいところを地域の人に理解してもらえるような取り組みもしていきたいです。」

(小幡さん)「最後に生徒会員の皆さんにお願いしたいことはありませんか?」

(平松君)「何か実行してみたいことがあったら、本部にどんどん提案してください。一人一人の意見を尊重して、互いに協力して活動していくようにしたいと思います。」



生徒会本部役員

7 10年間の歩み

(1) 教科等の記録

平成9年度

千葉市小中養護学校総合展推奨

(書写・理科・美術・技術家庭)

千葉県読書感想文コンクール優秀賞

千葉市読書感想文集「本だな」

一類・三類・四類最優秀

文集「ともしび」日記隨筆の部一席
第50回記念書初展席書大会千葉日報社長賞
千葉日報社紙上展(書写)最優秀賞

平成10年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
千葉市読書感想文集「本だな」二類最優秀
千葉日報社紙上展(書写)最優秀賞
千葉県納税貯蓄組合連合会長賞(税の作文)
全国納税貯蓄組合連合会優秀賞(税の作文)
千葉市総合体育大会ロードリレー男子優勝

平成11年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
千葉市の明日と市税イラスト金賞

平成12年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・技術家庭)
千葉市読書感想文コンクール四類最優秀
千葉県小中学校書写展覧会千葉日報社賞

平成13年度

千葉市小中養護学校総合展推奨(書写・理科)
千葉市読書感想文コンクール二類最優秀
千葉県読書感想文コンクール二類最優秀
千葉市の明日と市税イラスト学校賞

平成14年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
千葉市読書感想文コンクール最優秀
かんぽ作文コンクール関東郵政局長賞
中学校英語発表会暗唱の部1位

平成15年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
文英堂文芸作文コンクール学校賞
各教科等検定試験合格者数
漢字検定3級合格者 13名
数学検定3級合格者 8名
理科検定3級合格者 4名
英語検定3級合格者 21名
パソコン検定 3級 1名
 準4級 11名
柔道初段合格者数 3名

平成16年度

千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
千葉県科学作品展優良賞
技術家庭関東甲信越作品展覧会優秀賞
千葉県中学生ロボットコンテスト1位
千葉市総合体育大会ダンスの部最優秀賞
各教科等検定試験合格者数

漢字検定準2級合格者	4名
3級合格者	13名
数学検定3級合格者	11名
英語検定3級合格者	16名
パソコン検定準4級	8名
柔道初段合格者数	6名

平成17年度

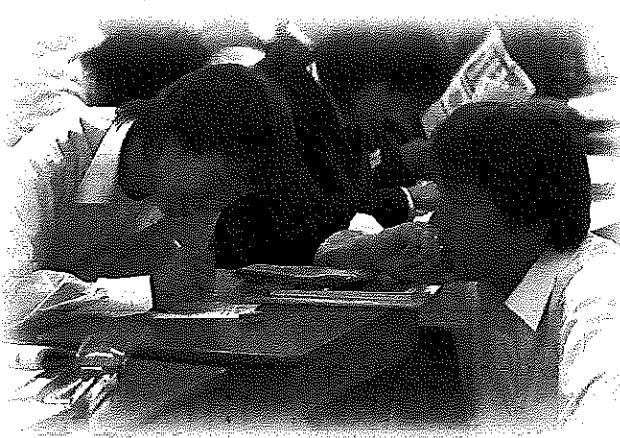
千葉市小中養護学校総合展推奨
(書写・理科・美術・技術家庭)
千葉県書写優秀作品紙上展最優秀賞
税についての作文中央県税務署長賞
千葉県科学作品展知事賞
全国学生児童発明くふう展入選
千葉県中学生ロボットコンテスト1位
関東中学生ロボットコンテスト2位
県中学生創造もの作り教育フェア最優秀賞
全国創造ものづくり教育フェア優秀賞
各教科等検定試験合格者数

漢字検定2級合格者	1名
準2級合格者	6名
3級合格者	28名
数学検定準2級合格者	2名
3級合格者	16名
英語検定3級合格者	16名
柔道初段合格者数	2名

平成18年度

※ 学事報告に掲載します

▶授業風景



Anniversary

(2) 部活動の記録

(市総体の上位記録を掲載。※印は市総体以外の大会)

平成9年度

陸上競技部総合優勝（男子優勝・女子準優勝）
 男子棒高跳び1位
 女子低4×100m1位
 女子バスケットボール部3位
 柔道部団体戦準優勝
 ※市新人大会男子バスケットボール部1位

平成10年度

野球部準優勝
 陸上競技部総合優勝（男子2位・女子5位）
 陸上3年男子100m1位
 陸上男子200m1位
 棒高跳び1位
 卓球部男子団体2位
 柔道部男子団体戦3位
 ※県総合体育大会棒高跳び4位

平成11年度

野球部準優勝
 陸上男子1年走り幅跳び1位
 陸上男子棒高跳び1位
 卓球部男子団体3位
 柔道部男子団体戦3位

平成12年度

陸上競技部男子総合準優勝
 陸上棒高跳び1位
 陸上110mハードル1位
 卓球部男子団体3位
 柔道部団体戦3位
 ※県総体陸上競技大会110mH1位
 ※関東中学校陸上競技大会
 110mハードル5位

平成13年度

陸上男子110mハードル1位
 卓球部男子団体3位
 卓球男子ダブルス優勝
 柔道部男子団体戦3位
 相撲部2年個人優勝
 ※県総体陸上競技大会110mハードル3位
 ※関東中学校陸上競技大会
 110mハードル5位
 ※コンピュータ部ホームページ開設

平成14年度

柔道部男子団体戦3位
 柔道部女子軽重量級優勝
 柔道部新人大会女子軽重量級優勝
 相撲部1年生団体優勝
 相撲部1年生個人優勝
 相撲部3年生個人優勝
 ※卓球部女子1年生大会個人優勝

平成15年度

柔道部男子90kg級優勝
 柔道女子軽重量級優勝
 相撲部学校代表の部優勝
 相撲部1年生団体優勝
 相撲部1年生個人優勝・2位・3位
 相撲部2年生個人優勝
 ※相撲部千葉市新人大会1年団体・個人優勝
 ※相撲部千葉県新人大会団体優勝
 ※サッカー部千葉市新人大会優勝
 ※サッカー部千葉市中央区大会優勝
 ※卓球部千葉市新人大会個人女子優勝
 ※バドミントン部千葉市冬季大会女子シングルス優勝

平成16年度

野球部南ブロック3位
 サッカー部3位
 卓球部女子個人優勝
 柔道部男子73kg級優勝
 ※柔道部千葉市新人大会団体3位
 ※サッカー部千葉県総合体育大会3位
 ※サッカー部流山招待大会優勝
 ※バレーボール部スマーカップ大会優勝
 ※バスケットボール部女子千葉市新人大会準優勝
 ※相撲部千葉市民総体2・3年個人優勝
 ※相撲部千葉市新人大会2年団体・個人優勝
 ※相撲部千葉県新人大会団体3位
 ※小中学生剣玉大会個人戦・各部優勝

平成17年度

柔道部男子団体戦3位
 柔道部男子90kg超級優勝
 相撲部団体準優勝
 ソフトボール部男子優勝
 陸上部男子棒高跳び2位
 陸上部男子4×100m2位
 ※吹奏楽部千葉県吹奏楽コンクールC部門金賞
 ※吹奏楽部千葉県マーチングコンテストフリースタイル優秀賞
 ※千葉県陸上記録会女子棒高跳び1位
 ※千葉市陸上競技選手権大会男女棒高跳1位

※陸上部千葉市民総体円盤投げ1位
 ※千葉県陸上記録会女子棒高跳び1位
 ※陸上部千葉市新人大会女子棒高跳び1位
 女子走り高跳び1位
 ※野球部千葉市中央区1年生大会優勝
 ※バレー部千葉県中学校選手権大会出場
 ※バレー部サマーカップ大会準優勝
 ※バドミントン部千葉市秋季大会男子団体3位
 ※柔道部市中学校体重別選手権90kg級優勝
 ※柔道部千葉市新人大会90kg超級優勝
 ※相撲部千葉市民総体団体優勝
 ※相撲部千葉市新人大会1年生団体優勝

平成18年度

柔道部男子90kg超級優勝
 相撲部団体優勝
 相撲部1年生個人優勝
 ※吹奏楽部千葉県吹奏楽コンクール金賞
 ※吹奏楽部千葉県マーチングコンテスト銀賞
 ※柔道部新人戦団体優勝



部活動練習風景

(3) 研究の記録

平成9年度

「主体的に学習する生徒を育てるにはどのようにしたらよいか」
 評価基準(規準)の作成

平成10年度

「主体的に学習する生徒を育てるための指導法はどのようにしたらよいか」

学び合い学習の実施

平成11年度

学習内容や感想文の掲示物作り
 市ボランティア教育推進校（3年間）

平成12年度

「社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成」
 -学習形態の工夫を中心にして-

総合的な学習の時間の実施

平成13年度

TTによる意欲的な取り組み
 市指定研究学校・学習指導の改善(2年間)

平成14年度

「自主的に学習できる生徒の育成」
 -基礎・基本の徹底を図る指導法の工夫を通して-
 単元ごとに観点別の評価基準を作成し、絶対評価を行う

平成15年度

TTや少人数指導の実施

平成16年度

[学習アンケート]と[生活アンケート]の実施

平成17年度

基礎学力の充実

平成18年度

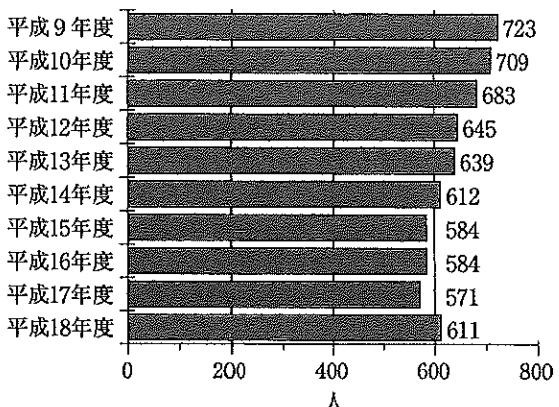
「自主的に学習できる生徒の育成」
 -基礎・基本を確実に定着させるための評価を生かした授業の工夫-



体育祭競技風景

(4) 生徒数の推移

生徒数は昭和22年開校時は200名、それから毎年増加し、ピークは昭和59年1,393名でした。



プログラム

～午前の部(記念式典 10:15)～

- 60周年に向けてのお話
◇小菅 俊一様 「開校当時」 ◇石井さおり様 「移転当時」 ◇長嶋 洋二様 「50周年当時」

- あいさつ(校長・実行委員長)

- 来賓紹介

- 招待演奏 千葉県立千葉南高等学校吹奏楽部

1年生30名、2年生35名の計65名で活動しています。私たちは「自分を持って相手を聞く」ということを目標として活動しています。しっかりと強い意志を持ちながら周囲にも気を配れることが出来る人間になれるよう、音楽を通して楽しく、そして厳しく練習しています。今日も皆様の学校の創立60周年ということで、一生懸命に演奏させていただくなつもりです。私たちは吹奏楽コンクールをはじめ、東京ディズニーランドなど様々な場所で演奏させていただいているが、中学生や他の学校とも合同練習をしたりと、幅広い活動をしています。今日も生浜中学校吹奏楽部の皆さんと一緒に演奏できることがとても楽しみです。最後までお楽しみ下さい。

◇南高ステージ [指揮]篠宮 幸則先生

♪「スパイラル・タワー」 ♪「天国と地獄」序曲 ♪「もののけ姫メドレー」

♪「宝島」 ♪「アマデウス浮かれる」 ♪「フェート・オブ・ザ・ゴッズ」

◇合同ステージ [指揮]篠宮 幸則先生・野上亮先生

♪「サザン・オールスターズ・メドレー」 ♪「CHIBACITY・OIHAMA・サンバ」

♪「サウザンド・リープス」

～午後の部(合唱コンクール 13:00)～

□<1年の部>

- | | | |
|------------------------------------|----------|----------|
| 1番 1年2組「君に会えて」 | [指揮]山口敏也 | [伴奏]西宇貴彦 |
| 2番 1年6組「Let's Search for Tomorrow」 | [指揮]花澤 茜 | [伴奏]松原友樹 |
| 3番 1年1組「そのままの君で」 | [指揮]植草智輝 | [伴奏]山田 樹 |
| 4番 1年3組「怪獣のバラード」 | [指揮]山崎大樹 | [伴奏]前川遙香 |
| 5番 1年5組「あの素晴らしい愛をもう一度」 | [指揮]青木健太 | [伴奏]初芝真季 |
| 6番 1年4組「カリブ夢の旅」 | [指揮]仲村美紀 | [伴奏]櫻井 彩 |

□<2年の部>

- | | | |
|------------------|------------|-----------|
| 1番 2年5組「空駆ける天馬」 | [指揮]吉野由花 | [伴奏]高木香織 |
| 2番 2年1組「鐘が鳴り渡る日」 | [指揮]大久保新之介 | [伴奏]小倉三佳 |
| 3番 2年3組「COSMOS」 | [指揮]大窪義也 | [伴奏]都築奈央 |
| 4番 2年4組「心の瞳」 | [指揮]鈴木梨奈 | [伴奏]林田笙子 |
| 5番 2年2組「思い出は空に」 | [指揮]熊谷莉奈 | [伴奏]大山沙也加 |

□<3年の部>

- | | | |
|-------------------|-----------|----------|
| 1番 3年5組「聞こえる」 | [指揮]茂呂彩乃 | [伴奏]久保陽香 |
| 2番 3年6組「未來」 | [指揮]北田いづみ | [伴奏]森 瞳美 |
| 3番 3年4組「春に」 | [指揮]鈴木優香 | [伴奏]鈴木花実 |
| 4番 3年1組「TOGETHER」 | [指揮]吉山由加理 | [伴奏]三浦慶悟 |
| 5番 3年2組「ひとつの朝」 | [指揮]中武ひろこ | [伴奏]栗原梨紗 |
| 6番 3年3組「君とみた海」 | [指揮]荒船沙知 | [伴奏]小林仁美 |

- ご講評 鈴木勲先生

- 閉会式(審査発表を含む)

[60周年記念事業実行委員]

長谷川功(実行委員長) 川頭由美 濱本洋子 加藤良子 石橋智重子 菊地美和 今井三枝子
西宇君江 外川京子 森川美紀

※写真提供 ハセベカメラ